

## 機関紙 Mind-Body Science バックナンバー 目次

### ●「Mind-Body Science」 No.35(2025.3.31 発行)

はじめに／桑野 萌

生まれるとは？／定方美恵子

スピリチュアリティとケア—孤独と日本におけるケア／船木 祝

看護を語りケアを捉えなおす／西村ユミ

ケアの協働、協同、そして共同体／今村達弥

仏教は生老病死を豊かにするのか／今井洋介

気功とケア—養生から人間総体の治癒プロセスへ／鳥飼美和子

湯浅泰雄先生の父、湯浅眞生師について／渡邊 学

ユニット活動報告

第34回年次大会報告

湯浅賞、その他

### ●「Mind-Body Science」 No.34(2024.3.31 発行)

巻頭文／杉岡良彦

訃報 黒木幹夫先生／渡邊 学

新しい「知」を求めて—忍耐と勇氣／杉岡良彦

人間学としての精神医学／濱田秀伯

精神医学とキリスト教の死生学／濱崎正孝

看護実践における他者理解の知の在り方／守屋治代

論証知と直感知の統合—新しい「知」の在り方を求めて／棚次正和

共感を通じた空間の創出—疑う知から愛の知へ／鮎澤 聡

大会報告

ユニット報告

### ●「Mind-Body Science」 No.33(2023.3.31 発行)

渡邊 学／日本の気功の回顧と展望：特集テーマについて

鮎澤 聡／人体科学会と気—坂出祥伸先生・星野稔先生・津村喬先生を偲んで

I 先達の遺徳を偲んで

定方昭夫／三人の先人を偲んで

渡邊 学／三先生の年譜と業績

II 気功の歴史を振り返る

西田隆重／日本における気功の前史

鳥飼美和子／中国気功の受容と交流—関西気功協会の活動を中心に—

### III 気功の本質と新たな展開

山部嘉彦／気功を仕切り直すには一必要なのはどんな時でも頼り甲斐のある自分の気功

出口衆太郎／自然な姿勢、楽な動きとしての気功の可能性

杉岡良彦／人体科学会第 32 回年次大会報告【大会テーマ】新しい「知」の在り方を探求する

守屋治代・河野貴美子／人体科学会ユニット活動報告

倉澤幸久／2022 年度湯浅泰雄賞 著作賞に高橋和夫氏『スウェーデンボルグのことばと思想』

### ●「Mind-Body Science」No.32(2022.3.31 発行)

杉岡良彦／自然とは何か—私たちを生かすものへの気づき 特集テーマについて

#### I 自然と科学

須田齋／物理学にとっての自然とはなにか

棚次正和／遺伝子とサムシンググレート—村上和雄先生の自然観

加藤孝太郎／農学にとっての自然—有機農業・自然農法の視点から

#### II 自然と身体

田中省吾／自然から逸脱したヒトの身体が獲得したもの

小宮山陽子／自然と身体—「生きていること」の探求

#### III 自然と宗教

松野智章／神道の神々と自然—日本人にとって自然とは何か

濱崎雅孝／キリスト教は自然をどう理解するか

大河内太博／仏教は自然をどう理解するか—死を通じて見えてくる自然

守屋治代／人体科学会第 31 回年次大会報告 「生ける自然」と祈りの実践

渡邊勝之／人体科学会西日本ユニット共催第 7 回身の医療研究会開催報告 いのちに基づいた医療&健康×いのちが歓喜する！

倉澤幸久／2021 年度湯浅泰雄賞 奨励賞に船木祝氏「響き合う哲学と医療」

### ●「Mind-Body Science」No.31(2021.3.31 発行)

【特集】：パンデミックに生きる

#### I パンデミックを記憶すること

渡邊学／パンデミックに生きる：特集テーマについて

斎藤環／「失われた環状島」

石坂尚武／2 種類の黒死病の衝撃外来種の全欧的黒死病と地域的周期的黒死病—

#### II パンデミックと対人関係の変容

青木芳恵／感染症予防と対人関係

鮎澤聡／視覚障害教育とオンライン講義あれこれ

III パンデミックに生きる心得

出口衆太郎／コロナ禍を生きる、自然身法の知恵

大下大圓／パンデミックの状況下における瞑想の実践

鶴沼宏樹／コロナ自粛下における気の鍛錬

東日本ユニット活動報告 無料オンライン (Zoom) 講演会

内田匠治・金子武良／身体とのコミュニケーション技術を考える

人体科学会第 30 回年次大会報告

内田匠治／オンライン大会で新たな可能性を探る

2020 年度湯浅泰雄賞渡邊勝之氏が受賞

倉澤幸久／20 年余にわたる活動と編著書三部作の刊行で人体科学会に貢献

### ●「Mind-Body Science」No.30(2020.3.31 発行)

《特集 病・病むことの神秘》

病・病むことの神秘：特集テーマについて／守屋 治代

病の神秘／棚次 正和

ユングと心の病とそれを超えるもの／渡邊 学

「病むことの神秘」あるいは「病むことの逆説」－フランクルの立場から／杉岡 良彦

東洋医学からみた「病むことの神秘」／内田 匠治

『黄帝内経』という神秘の書／松田 博公

病・病むことの神秘／守屋 治代

啓かれた無限一病という神秘／臼田 夜半

春木豊先生を偲んで／石井 康智

### ●「Mind-Body Science」No.29(2019.3.31 発行)

《身体と教育》

教育における身体性の再考と復権／鈴木 守

武術の心身論／寒川恒夫

体育思想史点描－身体と教育の接点のあり方を巡って－／佐々木 究

私はなぜ踊るのか？／岩下 徹

舞踊と身体－技術だけでは測れない舞踊の魅力－／國實真美

スピリチュアリティと身体／鎌田東二

「身体と教育」の可能性を探る－交感する身体、即興ダンス、そしてソマティック教育

－／吉田美和子

気功教室だより

日本の気功に「将来」はあるか？－超個人的視座より－／星野 稔

気の音楽療法『五臓の音符』からみた気功の多様性／鳥飼美和子

●「Mind-Body Science」No.28 (2018.3.31 発行)

《特集 医学・医療を哲学する》

「医学・医療を哲学する—いのちの根源を見据えて」について／棚次正和  
現代医学の方法論と人間観—創造に向けた批判のために／杉岡良彦  
ナイチンゲール看護論における「観ること（観察）」の深さ／守屋治代  
第 26 回大会以降に訪れた、《いのち》の“自感・自覚・自証”の進化・深化／渡邊勝之  
生き生きとした医学を求めて／鮎澤 聡  
あらゆる「いのち」の危機／増川いずみ  
からだの言い分は、からだに聴く—操体法の立場から／北村翰男  
私の気の治療／齊藤良夫  
ガンは身体を守る手段として作られる／堀田忠弘  
MBS 誌に関する会員アンケート：結果報告

●「Mind-Body Science」No.27 (2017.3.31 発行)

《特集 死と生と》

死と生と／宮本知次+遠藤卓郎  
海図のない海—入院期—夕暮れの海の暗礁／大井玄  
《いのち》の現象としての「死と生と」／渡邊勝之  
生の延長上にある死を「からだの気づき」の実践から考える／高橋和子  
超常現象・超常的体験が教えてくれる死と生の意味／大門正幸  
死と喪失と自然の恵み—初期の内村鑑三の悲嘆体験／島菌進  
「死と生と」と人体科学／鮎澤聡  
書評：ダニオン・ブリンクリー著『未来からの生還』『続・未来からの生還』／定方昭夫  
人体科学会第 26 回大会「医学・医療を哲学する—いのちの根源を見据えて」を終えて  
／渡邊勝之  
MIND-BODY SCIENCE 誌、会員様アンケートご協力のお願ひ  
MIND-BODY SCIENCE(MBS)への原稿募集

●「Mind-Body Science」No.26 (2016.3.31 発行)

《特集 身心変容》

「身心変容」と「身心変容技法」／鎌田東二  
脳科学を超えて—ゾクチェン哲学と「五つの野生のアノマリー」／永沢哲  
太極拳における武術と養生—戚継光『紀効新書』の読解から／倉島哲

Vertebrotherapy の誕生／藤森創  
心身の変容、自然の変容／鎌田東二  
意識の変容を脳波で探る／河野貴美子  
マインドフル瞑想と脳のシステム特性／齋木潤  
私の新書案内／大門正幸

●「Mind-Body Science」No.25 (2015.3.31 発行)

≪特集 死を超えて≫

死を超えて—死後存続と生まれ変わり……大門正幸  
臨死体験と脳……カール・ベッカー  
日本における生まれ変わり思想の展開……岡本聡  
被災地における心のケアと憑依現象……金田諦應  
過去性の記憶を語る子どもたち—その調査方法と実体……大門正幸  
生や死がおしえてくれること……稲葉俊郎  
中間生記憶の意義……池川明  
過去生記憶の意義……奥山輝美  
書評『「オーブ」は「パワースポット」にいる』……坂出祥伸

●「Mind-Body Science」No.24 (2014.3.31 発行)

≪特集 心身相関—心身論における伝統と革新≫

「心身相関」をめぐる議論と、その方向性……黒木幹夫  
腸からみた心身相関……藤田紘一郎  
発がん心身相関—ストレスとがん……長堀優  
時空を超えた心身相関……大門正幸  
夢身体という心身相関—ユング心理学からみたプロセス指向心理学……深津尚史  
日中伝統医学からみた心身相関……石原克己  
課題としての心身相関……黒木幹夫  
海外便り……大門正幸・田中彰吾  
人体科学会第3回サロン報告……芝田高志  
人体科学会第23回大会参加報告……杉本耕一

●「Mind-Body Science」No.23 (2013.3.31 発行)

≪特集 意識と時空≫

身体と意識の融和を目指した科学的探究……石川幹人  
時空を超える意識についての物理学……坂本政道  
シルバ・メソッドによる ESP の開発……佐々木豊文

遠隔とヒーリングー時空を超えて共鳴し合う意識と身体……木戸眞美  
気の空間的な広がりーキュウリを使った気やパワーの測定……小久保秀之  
意識の届く距離……内田智士  
ホログラフィック原理からみた時空と意識……奥健夫  
共時性をめぐる謎ーユングと物理学者パウリの出会い……湯浅泰雄

●「Mind-Body Science」No.22 (2012.3.31 発行)

≪特集 祈り≫

いつ如何なる時でも「祈る」こと……棚次正和  
上代の祈り……小堀邦夫  
愛と祈り……青山圭秀  
彼が私の心の中に行き続けているー一生と死への祈り……毛丹青  
神道の祝詞とユダヤ教の祈祷文……ベン＝アミー・シロニー  
祈りの研究……カール・ベッカー  
ブラジル スピリチュアル紀行……小久保秀之  
福島原発災害と日本人の宗教性・靈性……島蘭進

【報告】

人体科学会第 22 回公開講演会  
いのちの対話……渡邊勝之

●「Mind-Body Science」No.21 (2011.3.31 発行)

≪特集 いのちと美≫

いのちとかたちー美の顕現と宇宙的靈性……竹本忠雄  
聖なる場所と美といのち……鎌田東二  
いのちと美、人の進化のためにある揺れる吊り橋……山波言太郎  
美をいのち化する「旅」と「詩」……安田登  
美と数……桜井進  
カント『判断力批判』における命と美……佐藤康邦  
いのちの営み、それが美である……野村幸正  
大往生の美……大井玄

【報告】

第一回サロン  
帯津良一先生講演ー統合医療・代替医療と人体科学の展望……田中朱美  
2010 年度人体科学会夏合宿  
気を実感する 2 日間の体験……田中朱美  
人体科学会第 21 回公開講演会

「交流する身体」から生み出されることばーからだの感じを手がかりにした実践ー……  
村川治彦

●「Mind-Body Science」No.20 (2010.3.31 発行)

≪特集 魂のありか≫

近代人の「靈魂」論……吉永進一

死を超えるもの……鈴木秀子

魂の記憶……池川明

内なる視力ーヘレン・ケラーとスウェーデンボルグ……高橋和夫

響き合う孤高の魂『あの路』……いせひでこ

「魂のありか」あの世は魂のふるさと-心霊研究の「靈魂離脱」から考える……三浦清宏

医学と魂……鮎澤聡

亡き人は無き人か-魂のありかをめぐって……丸山敏秋

【報告】

人体科学会第 19 回大会・第 20 回公開シンポジウム

魂のありか……鮎澤 聡

人体科学会関西ワーキンググループ 東西いのちの文化フォーラム 2009 in 関西大学  
いのちのはかなさを愛しむ感性を育む場に……安田忠典

第 3 回人体科学会合宿研修参加者の声

【表紙の言葉】……田中朱美

●「Mind-Body Science」No.19 (2009.3.30 発行)

≪特集 境界と感知≫

触覚性境界……河本英夫

トランスー知覚を超えた世界を探る……河合徳枝

皮膚と心……山口 創

内面世界としての宇宙ールドルフ・シュタイナー……笠井 叡

肉体とエネルギー体の不確かな関係ー臨床の現場から見えてきたこと……矢野平一

他力と自力の統合ーホメオパシー……帯津良一

あの世との交流……三浦清宏

境界の向こうに感知可能な世界を開くーメキシコのシャーマンたちの前提……高橋 徹

【報告】

人体科学会第 18 回大会「生き方の問題：その原点を問う」……安田忠典

人体科学会第 19 回公開講演会「境界」から「つながり」へー皮膚感覚の可能性を探る  
……鮎澤 聡

【表紙の言葉】 ……田中朱美

●「Mind-Body Science」 No.18 (2008.3.30 発行)

≪特集 つながる≫

グローバルネットワークと精神的つながり……石川幹人

科学と哲学のつながりーインド伝承医学の世界観から……青山圭秀

離れた粒子も物理的につながっている……吉福康郎

前世と現世のつながり……越智啓子

宇宙は意識の進化のための学びの場……坂本政道

炎の修習ー古代の精神技法と現代医学……永澤 哲

【人体科学会へのアンケートのまとめ】

会員の多様な希望と今後の課題……河野貴美子

【報告】

人体科学会合宿研修「心と身体を健康を聞く・考える・実践する」……柴真理子

人体科学会第 17 回大会「動きから身体・人間の可能性を探る……石塚正一、田邊信太郎

人体科学会関西ワーキンググループ 東西いのちの文化フォーラム 2007 in 関西大学  
「地域との連携とともに授業をも巻き込む……安田忠典

人体科学会第 18 回公開講演会「こころの姿勢、からだの気持ち」……鮎澤 聡

【表紙の言葉】

アルゼンチンで出逢った母子……田中朱美

●「Mind-Body Science」 No.17 (2007.3.30 発行)

≪特集 治癒力とスピリチュアリティ≫

【人体科学会第 17 回公開講演会】

スピリチュアリティの人類学ーがんの自然寛解と下からの平和づくり……小田博志

治癒力とスピリチュアリティー宗教人類学的立場から……カール・ベッカー

スピリチュアリティの物理学的解釈……野村晴彦

【特別寄稿】

苦悩の置くに潜む治癒力……黒木賢一

看取りにおける「癒し」と「救い」……藤腹明子

欧米のホスピスケアにおける仏教の影響……村川治彦

【報告】

人体科学会第 16 回大会「代替医療の今」

若手研究者の発表と今後注目……定方昭夫

人体科学会関西ワーキンググループ 東西いのちの文化フォーラム 2006 in 関西大学

学生が変われば社会も変わる……安田忠典

【表紙の言葉】 サランコットの丘と少年……田中朱美

●「Mind-Body Science」No.16 (2006.3.30 発行)

≪特集 自然の響き合い≫

【人体科学会第16回公開講演会】

自然の響き合い～音・感性・コミュニケーション～……野村晴彦

音学（おとがく）と人間性……神津善行

癒しの音環境デザイン……小久保隆

植物の生命感覚とコミュニケーション……三輪敬之

パネルディスカッション……神津善行、小久保隆、三輪敬之、司会 鮎澤 聡

【特別寄稿】

植物とのコミュニケーション……武井秀夫

世界の変貌と環境……河本英夫

パースの一断章に関するノート……坂部 恵

【追悼】湯浅泰雄先生を忍ぶ……青木宏之、大井玄、越智秀一、定方昭夫

【報告】人体科学会第15回大会「スピリチュアリティと倫理」

スピリチュアリティと人間性の危機をめぐる論議と考察……越智秀一

人体科学会関西ワーキンググループ 東西いのちの文化フォーラム2004 in 関西大学

行事全体が遊びの場……安田忠典

【表紙の言葉】少数民族モン族の少女……田中朱美

●「Mind-Body Science」No.15 (2005.3.30 発行)

≪特集 子供たちは今≫

天動説の「世界」に住む子供たち……大井 玄

ふれあえる場の創出……高橋和子

文化遺産としての身体技法……矢田部英正

世界の子どもー小さな瞳のメッセージ……田中朱美

今日本の子どもが危ない……西原克成

育ちづらくなった子供たち……中井レイコ

タイプ別虚弱児の漢方治療ーどんなタイプにどんな漢方薬を使うか……佐藤 弘

子どもの涙の大きさについて……飯島明子

【人体科学会15周年】人体科学会の歩み

【報告】人体科学会関西ワーキンググループ 東西いのちの文化フォーラム2004 in 関西大学

体験を「人間力」に変換しよう……安田忠典

●「Mind-Body Science」 No.14 (2004.3.30 発行)

≪特集 不安の処方箋≫

- 【対談】不安の時代をいかに生きるか……山折哲雄・湯浅泰雄、司会 春木 豊  
不安は希望への指針……青木宏之  
情動を鎮める……春木 豊  
不安に答える……定方昭夫  
時代の処方箋としての「呪」……辻内琢也  
不安の意味と対処法……高橋 豊  
臓腑・経絡の異常を調整する……篠原昭二・渡邊勝之  
心を変えて治す……熊野宏昭  
痴呆老人の不安とケア……大井 玄  
【報告】関西ワーキンググループ「かかわり」の創出を目指して……安田忠典  
【寄稿】気と水の天地間の循環思想について……小高修司

●「Mind-Body Science」 No.13 (2003.3.30 発行)

≪特集「痛み」を感じる心、感じない心≫

- “治し”の医学から“痛み”の医学へ……帯津良一  
痛みと文化……渡邊 勉  
痛みと苦行……伴 義孝  
江戸の痛み……酒井シヅ  
「痛み」を糧として……仲里誠毅  
痴呆老人とがん疼痛……大井 玄  
心の痛みを抱えられない少年たち……生島 浩  
痛みからの創出—柳生新陰流 流祖の願い……永田鎮也  
“気”について語る—語り得ぬものにむかって……越智秀一  
まるごとのからだを問う新しい「学びの様式」の根本原理……伴義孝  
【報告】関西ワーキンググループ 東西いのちの文化フォーラム 2002 in 関西大学……  
安田忠典  
【MBS Book Review】私の3冊

●「Mind-Body Science」 No.12 (2002.3.30 発行)

≪特集「いのち」を考える≫

- いのちの循環ということ……春木豊  
書の窓……寺山旦中  
怪人二十面相と多重人格 いのちが私をする……大井玄

無常と慈悲……山折哲雄

チリの小児専門リハビリ病院から 身体の重さ、いのちの重さ……武井秀夫

生命と意識の間にある機微……森岡正芳

ホリスティック医療の方向性

マインド・ボディーからマインド・ボディー・スピリットへ……長沢元夫

アフガン問題に思う 人間精神と魂の危機を乗り越えて……湯浅泰雄

【気功の館から】

つきたてのお餅のように「いのち」を美味しく食べよう……山内直美

いのちの棲家……巖美稚子

【MBS Book Review】

斎藤孝の一連の著作から……春木豊

会員ブック情報……石井康智

人体科学会第 11 回大会報告 キャンパスに出現した市民参集の大会……定方昭夫

北京便り 中国体育事情……宮本知次

会員活動報告 脳死体験とクンダリーニー症候群……東長人

## ●「Mind-Body Science」No.11 (2001.3.30 発行)

【巻頭言】……春木豊

【現代の医療を問う】

現代医療の光と影……太田富雄

ホスピスケアを通して学ぶこと—無力の祝福— ……小澤竹俊

構造主義・ポスト構造主義診断学と治療論……中村俊規

【新しい精神の世紀】

「生命倫理学」の非人間性……阿内正弘

ミレニアム—魂の変容の転換点— ……高橋和夫

現代科学の動向……平野勝巳

【歴史の旅】

廈門・泉州・香港の辟邪呪物調査の旅から……坂出祥伸

哲学的エッセー「心」と「魂」を考える……湯浅泰雄

【人体科学会の活動：2000】

会員フォーラム —新入会員へのアンケートから—

会員投稿 さてこそ、「からだ」の世紀へ……伴義孝

会員投稿 無動機殺人について……田中彰吾

会員著作紹介

人体科学会第 10 回大会に出席して……定方昭夫

【書評・ブックガイド】……定方昭夫

●「Mind-Body Science」 No.10 (2000.2.20 発行)

【巻頭言】新しい世紀への提言

【人生と学問】

老人医療と死をみつめて禅の心を思う……大井玄

脳死患者の主治医からみた“脳死と臓器移植”……太田富雄

牧豊先生の考えていたこと……鮎澤聡

池見酉次郎先生の思い出……湯浅泰雄

玉城康四郎先生とユング心理学……湯浅泰雄

遺伝子とサムシング・グレート……村上和雄

現代宗教運動と若者の心……島藺進

夢七話……佐々木雄二

【人体科学会の活動：1999】

人体科学会第9回大会事務局始末……宮本知次

韓国人体科学会に出席して……定方昭夫

公開講演「死と生の心理学」を聞いて……湯浅泰雄

【ニューサイエンス諸学会の動向】

活気を帯びるアメリカの代替医療……大塚晃志郎

「脳と意識に関する Tokyo '99 国際会議」を終えて……治部眞里

「呼吸と情動」に関する国際会議……春木豊

こころの表現としての動き……中込四郎

【会員著作紹介】

玉城康四郎著『仏道探求』・『悟りと解脱』……湯浅泰雄

帯津良一・槌田敦対談『気とエンтроピー』……菅原浩

町好雄『気を科学する』・『気は脳の科学』……野村晴彦

湯浅泰雄著・訳『ユング超心理学書簡』……瀬戸明

【会員の広場】

私の瞑想体験……原久子

日米健康科学基金の設立と公募……東長人

ヨーロッパから人体科学会の皆様へ……マヤ・ミルシンスキー

●「Mind-Body Science」 No.9 (1999.3.30 発行)

【巻頭言】会長就任の挨拶……藤波襄二

【コラム】霊性とダイナミカル……帯津良一

【論文】不可視の身体……上野圭一

【学会等報告】

北京国際シンポジウム

日本臨床心理身体運動学会が設立される

心の病いと間柄

日本トランスパーソナル心理学／精神医学会の創立をめぐって

人体科学会第8回年次大会に出席して

第2回意識・新医療・新エネルギー国際シンポジウム

ジョセフソンとその周辺

日本代替・相補・伝統医療連合会議について

古代の気功を現代に復元

【会員投稿】中医学から診た自律神経失調症候群……劉文昭

【書評・ブックガイド】……定方昭夫

### ●「人体科学会ニューズレター No.8」（1998.3.30 発行）

≪特集 瞑想の人間学≫

新しい発展に向かって……湯浅泰雄

「空の思想」と「無の思想」の違いについて……本宮輝薫

【公開講演会／瞑想の人間学】

[講演] 瞑想の心理学……春木豊

[講演] 瞑想と精神医学……安藤治

[講演] 瞑想と哲学……湯浅泰雄

[討論] 人間にとって瞑想とは何か？……春木豊、安藤治、湯浅泰雄、定方昭夫

人体科学関連ニュース

井深大氏を偲ぶ……湯浅泰雄

本のコーナー・ブックガイド……定方昭夫

「人体科学会ニューズレター No.7」（1997.12.30 発行）

≪特集 気をパフォーマンスする≫

【随筆】

気功と私……南博

「寂」の風景……伊藤真愚

「クローン人間」幻想……山折哲雄

【公開講演会 気をパフォーマンスする】

[講演] 身体論の現在……佐藤臣彦

[パフォーマンス] 気功……出口衆太郎、ヨーガ……番場裕之、神道……中川正光

[対談] 身体論の現在をめぐって……佐藤臣彦・湯浅泰雄

### ●「人体科学会ニューズレター No.6」（1997.3.31 発行）

≪特集 東洋医学≫

【エッセイ】

陰の流れは足元を隠す……坪井香讓

気を感じるまなざしの違い……石田秀実

【特集—東洋医学】

[解説] 東洋医学と心の深層……湯浅泰雄

【公開講演会 東洋医学の可能性を探る】

[講演] 精神疾患の東洋医学的捉え方……田中朱美

[講演] 漢方医学の伝統的解釈について……長沢元夫

[座談会] 東洋医学の可能性……賀徳廣、長沢元夫、田中朱美、定方昭夫

幻視が語りかけるもの 一つの実験より……奥平明観

日中漢方医学の歴史秘話……白石佳正

本のコーナー・ブックガイド……定方昭夫

●「人体科学会ニューズレター No.5」(1996.10.26 発行)

≪特集 超心理学と人体科学≫

【公開講演会「心と気」への取り組み】

[講演] 気の科学……町好雄

【公開講演会 超心理学研究】

[解説] 人間科学と超心理学の問題……湯浅泰雄

[講演] 超心理学現象の特徴について……大谷宗司

[講演] 未知の情報系を探る……佐古曜一郎

[講演] 自然界における意識と実在—量子下の意識との遭遇—……瀬戸明

[特別寄稿] 科学者から見た心……治部眞里

本のコーナー・ブックガイド……定方昭夫

●「人体科学会ニューズレター No.4」(1996.3.31 発行)

≪特集 現代におけるいのち・やまい・いやし≫

【巻頭エッセー】人体科学との出会い……湯浅泰雄

人体科学会この一年のあゆみ

【公開講演会 現代におけるいのち・やまい・いやし】

[講演] 生と死をめぐる古代的叡智……永沢哲

[講演] がん治療現場で考える生と死……帯津良一

[討論] 現代におけるいのち・やまい・いやし……湯浅泰雄、帯津良一、永沢哲

戦後50年のなかで迎えた人体科学会第5回大会……久保田圭伍

本のコーナー・ブックガイド……定方昭夫

●「人体科学会ニューズレター No.3」 (1994.12.20 発行)

【公開講演会】

日本社会と身体観の変遷……養老孟司

身体と認識……村上陽一郎

身心全体の癒し：『身の形而上学』による考察……門脇佳吉

●「人体科学会ニューズレター No.2」 (1993.10.1 発行)

【年次大会シンポジウム】

呼吸の生理学……本間生夫

息の思想……鎌田東二

身・息・心……寺山旦中

息による身と個々との統合一道の生きから観るー ……門脇佳吉

【年次大会特別講演】

The Nature as Teacher and Healer…… J.A.Swan

中国気功研究の現状……王極盛

●「人体科学会ニューズレター No.1」 (1992.10.1 発行)

【公開講演会】

人体特殊感応機能 その誘発と普遍性……陳守良、賀慕巖

人体科学会をめざすもの……門脇佳吉

心理療法における気について……河合隼雄

小説と気……遠藤周作